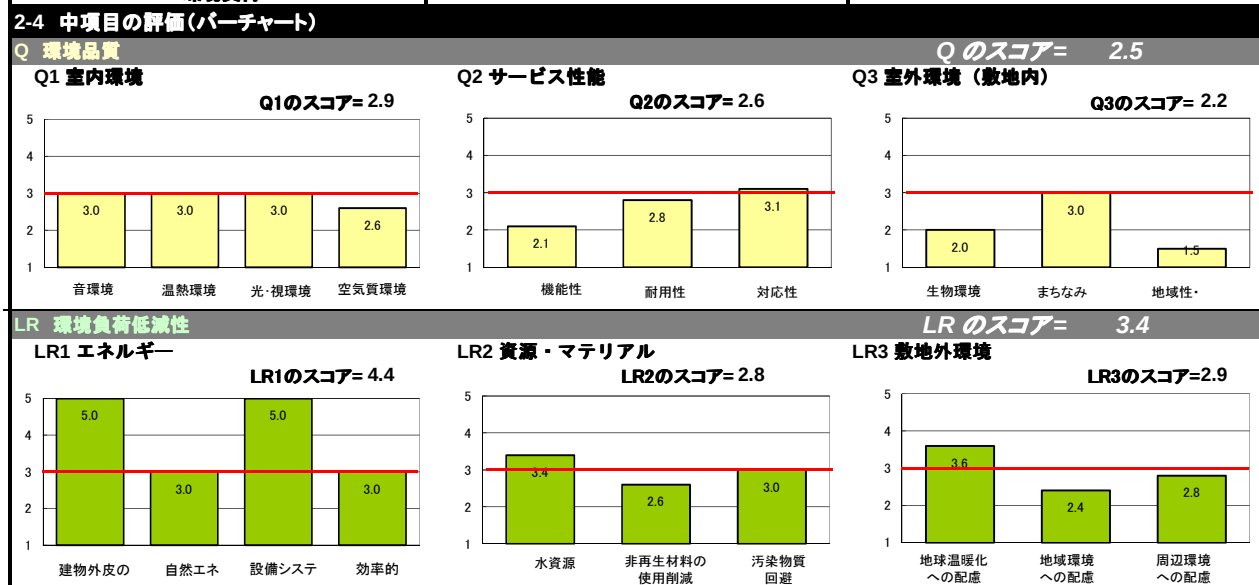
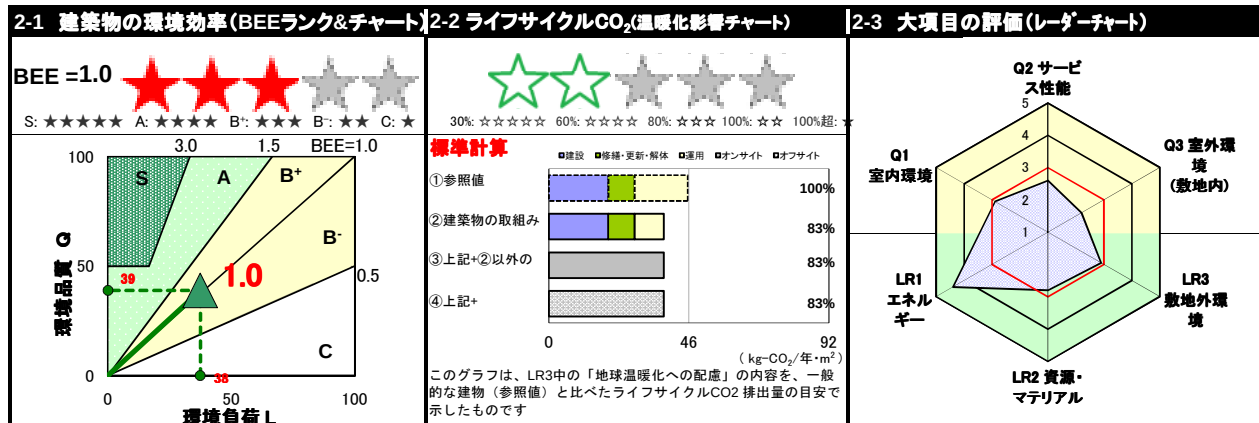


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本パリソン株式会社 姫路工場	階数	地上4F
建設地	兵庫県姫路市飾磨区今在家字近藤	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 予定	評価の実施日	2022年10月26日
敷地面積	23,191 m ²	作成者	川瀬正則
建築面積	7,469 m ²	確認日	2022年11月2日
延床面積	18,780 m ²	確認者	川瀬正則



3 設計上の配慮事項		その他
総合 建物周辺環境に配慮し、従業員利用者の使いやすい環境づくりを目指した。		
Q1 室内環境 建物周辺環境を配慮した生産機械の配置と、従業員利用者の環境向上の為に、遮音性能の確保等、室内環境への配慮を行った。	Q2 サービス性能 従業員と製品との導線に配慮し、敷地内及び建物内に於いて段差の少ないバリアフリー構造とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地西側夢前川既存緑地を活用し、厚生棟南側の道路面に植栽を行い、メイン出入口についても植栽を配置し、周辺環境に努めた。
LR1 エネルギー LED照明器具を積極的に活用することにより、省エネルギーへの配慮を行った。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材を採用した。	LR3 敷地外環境 敷地周囲に既存緑地も含めて、積極的に植栽を配置し、周辺環境に配慮に努めた。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される